

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

## 地元TV局会員を活用した市場調査に基づく地場産カット野菜開発・販売事業

地元テレビ局の「子育て世代会員」に対するアンケート調査・モニタリングを行うことにより、食の安心に対する関心度の高い世代のニーズを反映した、地場産カット野菜新商品を企画、提供する。

### 連携体

農林漁業者

(農)サカタニ農産(農業)、JAいみず野(農業)

利用頻度の少ない水稲育苗ハウスや転換畑を活用して、新たにカット野菜に適した特徴ある野菜の生産を行う。

中小企業者

(株)ユーキフーズ(食料品製造業)

地元テレビ局の情報収集・発信機能を活用して、消費者ニーズの高い安心なカット野菜を製造・販売する。

連携参加者

(株)チューリップテレビ、丸果(株)高岡青果市場、富山県広域普及指導センター

消費者ニーズの調査、地場産野菜の供給調整及び生産技術指導

サポート機関等

(財)富山県新世紀産業機構、地域活性化支援事務局

### 連携の経緯

稲作中心で野菜生産が全国最下位である富山県の野菜生産振興を図るため、富山県広域普及指導センターが、新たな地場産野菜の生産とそれを利用した消費者ニーズの高いカット野菜の商品化を提案。カット野菜製造メーカーの(株)ユーキフーズと、大規模稲作農家の(農)サカタニ農産、JAいみず野が連携。消費者ニーズの調査、地場産野菜の供給調整のため、(株)チューリップテレビと丸果(株)高岡青果市場が連携参加。



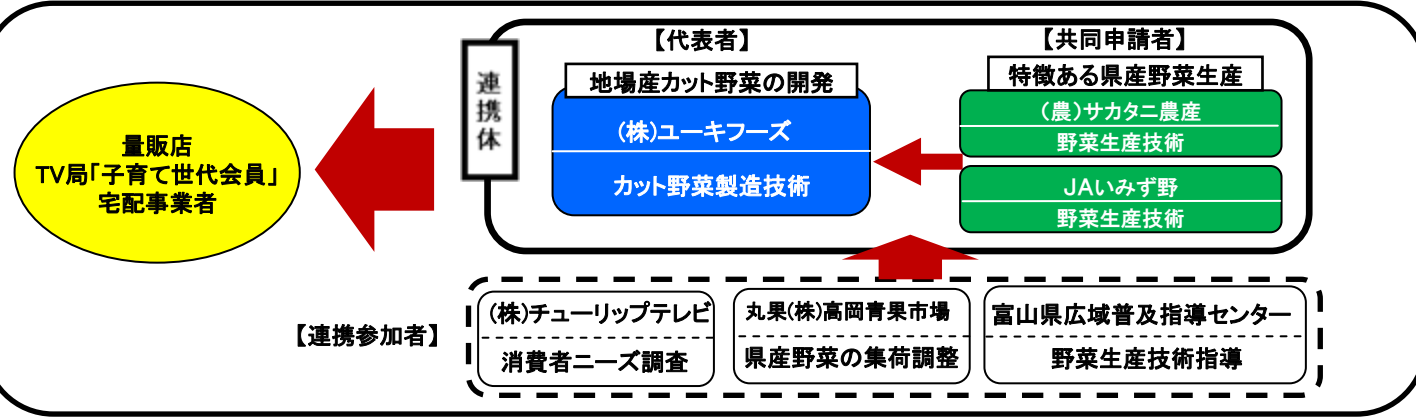
<水稲育苗ハウス、転換畑での栽培>

### 連携に当たっての課題や工夫等

地場産カット野菜の新商品開発を行うにあたり、消費者ニーズを把握するため地元テレビ局の「子育て世代」会員(約1万人)を活用し、野菜ソムリエの資格を有する社員が中心となって開発を進める。また、利用頻度の少ない水稲育苗ハウスや転換畑を有効活用して、特徴ある野菜の生産を行う。さらに、新たに冬期間も含めたキャベツの通年栽培を実施する。



<地場産カット野菜試作品と試食評価会>



### 連携による効果

農林漁業者

(農)サカタニ農産 4年後1,006万円の売上高増加、野菜事業の拡大  
JAいみず野 4年後1,161万円の売上高増加、地場産野菜の安定供給

カット野菜用の特徴ある野菜の安定生産が可能となり、米、野菜等の複合経営による経営改善が期待される。

中小企業者

4年後4,100万円の売上高増加、ニーズに応じた商品開発

子育て世代のニーズに対応した地場産カット野菜新商品開発により、販売力の強化、安定が期待される。

### 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社ユーキフーズ 所在地：富山県砺波市太田1889-8  
TEL：0763-33-4433 FAX：0763-34-8010  
E-mail：yuuki-foods@forest.ocn.ne.jp